

施策：	17	子育て支援の推進	財務コード	01030212-01-00
基本事業：	03	地域における子育て支援	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	急用時等に子どもを預ける場所がある又は人がいる保護者の割合 他の親子と交流している乳幼児をもつ保護者の割合		担当課	子育て支援課
			担当係	子育て支援担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成14年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
生後3か月から小学校6年生までの子を持つ市民			<事業の内容> 児童の預かりにおける登録会員同士の有償ボランティア活動の支援 <活動内容> ・保育所、幼稚園、学校、習い事の送迎及び前後の預かり等 <利用料金> ・月～土（祝日除く）7時～19時：1時間700円 （それ以外の時間：1時間900円） <学習会の内容> ・年4回会員登録会と子育て支援の学習（1回3時間×4回） ・幼児安全法（1回3時間×4回） ・子どもへの関わり方等の学習（1回2時間×6回） 【根拠法令】子ども・子育て支援法 【補助金】子ども・子育て支援交付金（ファミリーサポートセンター事業費）（国1/3 県1/3 市1/3）							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
地域において育児の支援を受けたい人（おねがい会員）と、育児の支援を行いたい人（まかせて会員）の、相互援助活動を支援し、保護者の子育てを支援している。										
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	01年度 実績	02年度 実績	03年度 当初	04年度 要求	05年度 計画	06年度 計画	目標	
子どもの預かり件数		件	1,516	779	1,350	1,350			1,300	
まかせて会員登録数		人	234	200	235	235			230	
5. コスト										
事業費		計	千円	5,160	5,958	6,047	5,731			
		国	千円	1,333	1,333	1,333	1,333			
		県	千円	1,333	1,333	1,333	1,333			
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0	0			
		一般	千円	2,494	3,292	3,381	3,065			
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1	0.2				
正職員人件費		千円	807	803	792					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	5,967	6,761	6,839	5,731				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		<状況> R2年度は、子どもの預かり件数とまかせて会員登録数は減少した。 <原因> 子どもの預かり件数は、新型コロナウイルス感染症防止対策として、学校等の休校や保護者が自宅で仕事をする機会が増えたことにより預かりは減少した。また、まかせて会員の整理を行った関係で人数が減少した。（高齢で活動できない会員などがあり、実数として整理したため） <課題> お願い会員とまかせて会員の居住地のバランスがとれておらず、偏りがあるため、地域ごとのバランスをとるための会員の獲得が課題となる。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	減少	類似事業	なし	学習会等の場を活用し、事業の周知啓発をさらに行い、まかせて会員の増加につなげていく。 学習会の時間数の基準が24時間の講習を行うことが望ましいと示されており、その基準に近づけるよう時間や日数を調整している。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）										
・H14～地域における育児の相互援助活動の支援を通じ、子育てをする者が仕事と育児を両立し、安心して働くことができるような環境を整備していくことを目的とし事業開始 ・R3～会員登録するための学習会等の規定を変更（受講回数を4回から5回へ、受講時間を9時間から14時間へ）						備考・特記事項 or 進行管理欄 会員の種別と登録に必要な受講数 ・おねがい会員（会員登録会及び学習会を各1回受講） ・まかせて会員（会員登録会の他、学習会を5回受講 うち幼児安全法必須）				